

青戸地区震災復興まちづくり訓練

第3回のアンケートにて頂いたご意見と葛飾区の考え方

頂いたご意見に対する区の方考え方を以下にお示します。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の取組の参考にさせていただきます。

(2) グループワーク① <復興の手がかりを探そう>、

(3) グループワーク② <被災後の『都市』の復興を考えよう>の内容について

ご意見	葛飾区の考え方
1. 時間配分について <ul style="list-style-type: none"> ・グループの意見をまとめる時間が無い。 ・各自の意見を発表しただけに終わってしまった。 ・時間切れで話し合えなかった。 	<p>前回の訓練で同様のご意見もありましたので、グループワークの時間を長くとらせていただきましたが、活発に意見交換を行っていただいたこともあり、時間が不足した班もありました。</p> <p>限られた時間の中で進行するように、班ごとに意見をまとめる時間を設けられるよう、グループワークの進行管理に努めてまいりたいと思いますので、引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。</p>
2. グループワークのやり方について <ul style="list-style-type: none"> ・幅がひろく的をしぼった方がよいのでは。 ・復興まちづくり方針のQ1.1と2以降の時期が違うので、選びにくかった。 	<p>グループワークの設定や検討内容の説明にわかりづらい部分があり申し訳ございませんでした。</p> <p>頂いたご意見を踏まえ、ワークシートの構成や訓練用の被害想定など、今後行う訓練での説明の仕方など工夫してまいります。</p>

その他、意見、感想（訓練のすすめ方、進行スタッフへのコメント等）

ご意見	葛飾区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時限的市街地を青戸につくる計画を具体的に話し合えればよかった。 ・ 時限的市街地についてあまり理解が追いつかないまま進んでしまったので、グループワーク②でその言葉がでてきて少しとまどった。もう少しだけ解説してくれたらうれしかったです（中林先生のコメントでわかりました）。 ・ 講師の先生の話の話を先に聞いてからグループごとにまちづくり復興について話し合った方が良かったのでは？せっかく地区ごとのグループになっていたのに。 	<p>時限的市街地の説明は冒頭の講義で行われておりますので、グループワークの演習を行う前にあらためて説明を行うなど、時間配分なども含めて円滑に進行できるよう努めてまいります。</p> <p>本区としては、講義と演習を通じてご理解いただいたうえで中林先生の解説を聞いていただくことにより、さらに理解を深めていただきたいと考えております。</p>

いただいたご感想など

- 地図を見ながら自分の町の防災設備を確認できてよかったと思います。
- 復興における町づくりの考え方がわかりました。
- 日頃身近に考えることがないので良い機会です。
- 十人十色の意見があるとよくわかりました。
- 自分の住んでいる地区の問題点（高いブロック壁が多い、道路がせまい、木造住宅が密集している等）、利点（広場、公園がいくつもある）が改めて認識できた。
- 身近な場所をいかにふだん見ていなかったのか？気にしていなかったのか？ということに気づかされました。余裕のあるときには、周りを良く見てみたいと思います。
- 自分の住む町を、自発的に意見を出すことができた。
- 同一地域内の方でも考え方が違う方がいる事を知りました。戸建てとマンション住居者等。
- 設定は難しかったが、様々な、意見が出て良かった。
- 中林先生の最後に於ける説明が大変有益でした。
- 具体的にどのようなことが必要か、考える機会になりました。
- 実際に被災した時に、一番復興する最短・最良な方法は住民の意見を合わせられるかだと思いました。自助・共助の考え方の大切さを痛感しました。

たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。